



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月29日

上場会社名 株式会社ワンダーコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 3344 URL https://www.wonder.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内藤 雅義
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 宮本 正明 (TEL) 029-879-7030
 定時株主総会開催予定日 2020年6月23日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	61,207	—	1,277	—	1,306	—	978	—
2019年3月期	72,117	—	453	—	451	—	△5,159	—

(注) 包括利益 2020年3月期 1,012百万円(-%) 2019年3月期 △5,375百万円(-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	129.52	—	15.8	4.6	2.1
2019年3月期	△695.84	—	△68.9	1.4	0.6

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 -百万円 2019年3月期 -百万円

(注) 2019年3月期は決算期変更に伴い、13ヶ月間の変則決算のため、対前期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	27,248	7,000	24.5	881.95
2019年3月期	29,888	5,988	19.2	757.59

(参考) 自己資本 2020年3月期 6,663百万円 2019年3月期 5,724百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	404	139	△1,838	4,044
2019年3月期	1,735	△723	△598	5,339

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(注) 連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により現段階で合理的な業績予想の算定を行うことが困難なことから未定とし、記載していません。今後、合理的な予想が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	7,559,184株	2019年3月期	7,559,184株
② 期末自己株式数	2020年3月期	3,856株	2019年3月期	3,581株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	7,555,459株	2019年3月期	7,414,361株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	47,403	—	1,105	—	1,494	—	1,268	—
2019年3月期	56,323	—	336	—	320	—	△4,714	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	167.90		—					
2019年3月期	△635.84		—					

(注) 2019年3月期は決算期変更に伴い、13ヶ月間の変則決算のため、対前期増減率は記載していません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2020年3月期	23,104		6,720		29.1	889.44		
2019年3月期	24,901		5,451		21.9	721.57		

(参考) 自己資本 2020年3月期 6,720百万円 2019年3月期 5,451百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	1
(1) 当期の経営成績の概況	1
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

当社は、前連結会計年度より決算期末日を2月末日から3月31日に変更いたしました。それにより、前連結会計年度は13ヶ月間の変則決算となるため、前連結会計年度との比較については記載しておりません。

(1) 当期の経営成績の概況

① 当連結会計年度の業績全般の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり、緩やかな景気回復基調で推移しておりました。しかし、台風などの自然災害や消費税増税に加え、新型コロナウイルス感染症の経済への影響や金融資本市場の変動により、不安定な状況で推移しました。

そのような環境の中、当社を取り巻くエンターテインメント市場、ならびにリユース市場においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、販売店舗の休業やLIVEコンサート等各種イベントの開催自粛、工場の稼働停止による商品出荷の遅延など多くの影響を被りました。一方、足元ではゲーム等のパッケージ商材や本を中心とした巣ごもり商材への需要が高まっております。また、動画配信市場、スマートフォン市場等のデジタルコンテンツの拡大に加えて、インターネット販売をはじめとした非対面分野への関心も高まっており、お客様の購買行動の変化への対応が一層求められています。

当社グループにおける当連結会計年度末の店舗数については、WonderG00事業66店舗（内、F C 7店舗）、WonderREX事業32店舗（内、F C 2店舗）、TSUTAYA事業82店舗、新星堂事業79店舗、その他事業12店舗（内、F C 7店舗）、合計271店舗となりました。

これらの結果、当連結会計年度における売上高は61,207百万円となりました。さらに構造改革を進めるうえで、本社移転や本部人員配置の適正化をはじめとしたコスト改善を行ったことで営業利益は1,277百万円、経常利益は1,306百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は978百万円となりました。

当連結会計年度の主な新規出店等の状況

店舗名	会社名	設備内容	開店月	所在地	売場面積
WonderREXイオンモール柏店	当 社	新規出店	2019年4月	千葉県柏市	265㎡
WonderREXセブンパークアリオ柏店	当 社	新規出店	2019年10月	千葉県柏市	100㎡
WonderREX小田原ダイナシティ店	当 社	新規出店	2020年2月	神奈川県小田原市	265㎡
WonderREX浅草ROX・3G店	当 社	新規出店	2020年3月	東京都台東区	163㎡
WonderREXイオンモール与野店	当 社	新規出店	2020年3月	埼玉県さいたま市	235㎡
WonderREXイオンモール佐野新都市店	当 社	新規出店	2020年3月	栃木県佐野市	112㎡
新星堂mozoワンダーシティ店	当 社	新規出店	2019年10月	愛知県名古屋	410㎡

② 当連結会計年度の報告別セグメントの概況

<WonderG00事業>

WonderG00事業におきましては、エンターテインメント市場全体における新作ゲームソフトや音楽ソフト販売の低調を受け、厳しい状況が続いておりますが、不採算店舗8店舗閉鎖や売場効率化に伴う改装を実施したことで業績は堅調に推移いたしました。また、仕入型小売業からの脱却を図るべく中期方針「モノからLIVE」を掲げ、既存パッケージ販売だけでなくコト事業の強化に取り組んでまいりました。具体的には、大型デュエルスペースを併設したトレーディングカード専門店の「DuelStade Ganryu」を3店舗出店、エンターテインメントレストラン「チーズチーズカフェ」の出店、既存店舗へのリユース業態の導入を4店舗実施するとともに、空きスペースの転貸を実施することで収益改善を図ってまいりました。

これらの結果、WonderG00事業の売上高は29,050百万円、営業利益813百万円となりました。

<WonderREX事業>

WonderREX事業におきましては、買取の強化を目的として、当社鑑定士によるイベント型買取鑑定会を定期的を実施するとともに、出張買取・宅配買取・引越買取の強化を行うことで良質な在庫確保に努めてまいりました。また、北関東を中心としたロードサイド型店舗の出店から都心立地への出店戦略に変更することで、事業拡大を加速して

まいりました。具体的にはブランドリユース専門店として東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県の一都三県の大規模商業施設に6店舗出店いたしました。

これらの結果、WonderREX事業の売上高は8,046百万円、営業利益229百万円となりました。

<TSUTAYA事業>

TSUTAYA事業におきましては、主力である映像・音楽レンタル部門が、スマートフォンを中心としたコンテンツ配信サービス等の影響を受け、厳しい状況が続いております。これに対し、サブスクリプション型サービスのTSUTAYAプレミアムの獲得促進など、安定的な収益確保を進めてまいりました。レンタル市場の縮小均衡が今後も継続することが予想される中、映像・音楽レンタル中心の事業構造からの転換を図るべく、トレーディングカード専門店「バトロコ」を2店舗出店いたしました。また不採算店舗を6店舗閉店し、収益改善に努めてまいりました。

これらの結果、TSUTAYA事業の売上高は13,456百万円、営業利益114百万円となりました。

<新星堂事業>

新星堂事業におきましては、人気アーティストによる大型タイトルの販売と、不採算店舗の20店舗閉鎖、さらに既存店舗の改装やイベント事業の強化を行ったことにより収益が改善いたしました。具体的には「モノからLIVE」の中期方針のもと、イベント特化型店舗「エンタバシブヤ」の出店や次世代型新星堂店舗モデルとしてイベントの実施及びPOP UP STOREを併設した店舗の出店・改装を実施いたしました。また、従来の大規模商業施設でのリリースイベントに加え、ライブハウス等での自主企画イベントに取り組み、収益改善に努めてまいりました。

これらの結果、新星堂事業の売上高は9,780百万円、営業利益156百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は、17,385百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,231百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が1,967百万円減少したことによるものです。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は、9,862百万円となり、前連結会計年度末に比べ409百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が69百万円、投資その他の資産が341百万円減少したことによるものです。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は、15,765百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,483百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が848百万円、1年内返済予定の長期借入金が370百万円、未払金が475百万円減少したことによるものです。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は、4,482百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,168百万円減少いたしました。これは主に、社債が260百万円、長期借入金が600百万円、リース債務が237百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、7,000百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,011百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益が978百万円発生したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,294百万円減少し、4,044百万円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に、仕入債務の減少により848百万円、未払費用の減少により349百万円資金が減少したものの、税金等調整前当期純利益1,061百万円、減価償却費729百万円により資金が増加したため、404百万円の資金の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に、有形固定資産の取得812百万円により資金が減少したものの、定期預金の払戻673百万円、敷金及び保証金の回収630百万円により資金が増加したため、139百万円の資金の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に、長期借入れによる収入により506百万円資金が増加したものの、長期借入金の返済により1,477百万円、社債の償還による支出260百万円、リース債務の返済により437百万円資金が減少したため、1,838百万円の資金の減少となりました。

(4) 今後の見通し

エンターテインメントソフト小売業界を取り巻く環境は、5Gの本格稼働により電子書籍や、音楽・映像配信・アプリ・ネット通販などの利便性がさらに向上することで、今後一層、消費行動の選択肢は多様化していくものと思われま

す。このような状況の中、当社グループは中期方針である「モノからLIVE」に基づき、仕入型小売業から体験型サービス業へ事業構造を転換することで、新たな顧客価値の創造を進めてまいります。各事業の具体的な取り組みについては以下の通りです。

WonderG00事業

- ・非対面型ビジネスの強化推進
- ・トレーディングカード専門店「DuelStade Ganryu」の出店
- ・自社企画商品の開発・販売

WonderREX事業

- ・都心立地への出店加速
- ・自社ECサイトの運営開始
- ・出張買取の強化
- ・新規買取専門店の出店

TSUTAYA事業

- ・トレーディングカード専門店「バトロコ」の出店

新星堂事業

- ・次世代型新星堂店舗の出店
- ・非対面型ビジネスの強化推進

また、2021年3月期の業績見通しについては、世界的に感染が拡大している新型コロナウイルスの影響が、長期に渡り継続するものと予想され、現時点では先を見通すことが困難な状況にあります。

そのため、業績予想につきましては、現段階では合理的な算出が困難であるため、未定とさせていただきます。今後、見通しが明らかになった時点で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社では、日本基準を適用し財務諸表を作成しております。現在、IFRSの任意適用の可否について検討を行っております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,012,478	4,044,812
売掛金	1,370,513	1,501,174
商品	10,633,433	10,474,812
貯蔵品	18,708	16,153
未収入金	784,007	548,186
その他	803,532	805,817
貸倒引当金	△5,629	△5,015
流動資産合計	19,617,044	17,385,940
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,683,545	2,507,054
機械装置及び運搬具(純額)	—	434
工具、器具及び備品(純額)	378,117	435,935
土地	1,098,385	1,098,385
リース資産(純額)	318,299	208,879
建設仮勘定	1,485	159,262
有形固定資産合計	4,479,833	4,409,951
無形固定資産		
のれん	86,461	45,477
その他	178,352	221,219
無形固定資産合計	264,813	266,696
投資その他の資産		
投資有価証券	8,508	4,923
敷金及び保証金	4,796,457	4,279,133
繰延税金資産	297,174	452,406
その他	512,506	532,542
貸倒引当金	△87,987	△83,461
投資その他の資産合計	5,526,659	5,185,544
固定資産合計	10,271,306	9,862,192
資産合計	29,888,350	27,248,133

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,044,889	4,196,611
短期借入金	7,950,000	7,780,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	1,355,073	984,308
リース債務	460,672	249,316
未払金	832,487	356,947
未払費用	1,345,080	1,229,655
未払法人税等	323,479	160,697
未払消費税等	161,173	137,290
賞与引当金	169,248	175,716
その他	547,116	435,087
流動負債合計	18,249,220	15,765,631
固定負債		
社債	390,000	130,000
長期借入金	2,337,104	1,736,962
リース債務	734,412	497,076
退職給付に係る負債	517,870	527,395
長期預り保証金	461,920	419,867
資産除去債務	770,650	800,193
その他	438,997	370,936
固定負債合計	5,650,956	4,482,431
負債合計	23,900,176	20,248,063
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,185,550	3,185,550
資本剰余金	3,298,885	3,298,885
利益剰余金	△868,522	110,047
自己株式	△3,901	△4,112
株主資本合計	5,612,012	6,590,372
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	450	122
退職給付に係る調整累計額	111,578	72,946
その他の包括利益累計額合計	112,028	73,069
非支配株主持分	264,133	336,628
純資産合計	5,988,174	7,000,070
負債純資産合計	29,888,350	27,248,133

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	72,117,200	61,207,912
売上原価	46,825,892	38,574,850
売上総利益	25,291,308	22,633,061
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	908,213	777,104
物流費	232,561	152,511
従業員給料及び賞与	9,582,794	8,586,590
賞与引当金繰入額	202,531	209,168
退職給付費用	193,087	154,229
福利厚生費	1,283,204	1,222,638
水道光熱費	1,037,068	825,474
減価償却費	1,194,362	705,617
地代家賃	5,312,871	4,497,168
リース料	160,428	130,919
支払手数料	2,467,030	2,260,447
その他	2,263,275	1,833,532
販売費及び一般管理費合計	24,837,429	21,355,402
営業利益	453,879	1,277,658
営業外収益		
受取利息	29,626	25,607
受取配当金	282	292
受取補償金	53,093	—
資産除去債務戻入益	19,952	30,991
その他	74,615	125,577
営業外収益合計	177,570	182,468
営業外費用		
支払利息	138,410	129,254
新株発行費	11,586	—
その他	29,629	24,816
営業外費用合計	179,626	154,070
経常利益	451,822	1,306,056
特別利益		
固定資産売却益	1,101	44,389
店舗譲渡益	—	6,000
特別利益合計	1,101	50,389
特別損失		
固定資産除却損	38,887	5,574
減損損失	607,585	257,059
賃貸借契約解約損	—	29,134
事業構造改善費用	4,855,784	—
その他	48,896	3,439
特別損失合計	5,551,153	295,207
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△5,098,229	1,061,238

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
法人税、住民税及び事業税	245,027	165,219
法人税等調整額	21,408	△155,047
法人税等合計	266,435	10,172
当期純利益又は当期純損失 (△)	△5,364,665	1,051,065
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失 (△)	△205,476	72,495
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△5,159,188	978,570

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△5,364,665	1,051,065
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△167	△327
退職給付に係る調整額	△10,629	△38,631
その他の包括利益合計	△10,796	△38,959
包括利益	△5,375,462	1,012,106
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△5,169,935	939,611
非支配株主に係る包括利益	△205,526	72,495

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,358,900	2,472,235	4,290,666	△2,087	9,119,715
当期変動額					
新株の発行	826,650	826,650			1,653,300
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△5,159,188		△5,159,188
自己株式の取得				△1,814	△1,814
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	826,650	826,650	△5,159,188	△1,814	△3,507,703
当期末残高	3,185,550	3,298,885	△868,522	△3,901	5,612,012

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	567	122,208	122,775	469,659	9,712,151
当期変動額					
新株の発行					1,653,300
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△5,159,188
自己株式の取得					△1,814
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△116	△10,629	△10,746	△205,526	△216,273
当期変動額合計	△116	△10,629	△10,746	△205,526	△3,723,976
当期末残高	450	111,578	112,028	264,133	5,988,174

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,185,550	3,298,885	△868,522	△3,901	5,612,012
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			978,570		978,570
自己株式の取得				△210	△210
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	978,570	△210	978,360
当期末残高	3,185,550	3,298,885	110,047	△4,112	6,590,372

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	450	111,578	112,028	264,133	5,988,174
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益					978,570
自己株式の取得					△210
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△327	△38,631	△38,959	72,495	33,535
当期変動額合計	△327	△38,631	△38,959	72,495	1,011,895
当期末残高	122	72,946	73,069	336,628	7,000,070

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△5,098,229	1,061,238
減価償却費	1,266,345	729,023
減損損失	607,585	257,059
のれん償却額	134,603	40,984
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,303
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,784	6,467
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,458	△29,107
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△392,852	—
受取利息及び受取配当金	△29,909	△25,899
支払利息	138,410	129,254
資産除去債務戻入益	△19,952	△30,991
固定資産売却損益(△は益)	—	△44,189
固定資産除却損	38,887	5,574
賃貸借契約解約損	—	29,134
事業構造改善費用	1,185,635	—
店舗譲渡益	—	△6,000
売上債権の増減額(△は増加)	△197,781	△130,660
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,068,648	161,175
仕入債務の増減額(△は減少)	875,066	△848,278
未払費用の増減額(△は減少)	250,183	△349,695
未払金の増減額(△は減少)	509,144	△110,860
その他	△258,550	50,430
小計	2,106,479	893,355
利息及び配当金の受取額	1,033	1,731
利息の支払額	△135,861	△132,111
法人税等の支払額	△235,688	△358,372
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,735,963	404,602
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500,033	—
定期預金の払戻による収入	21,601	673,395
有形固定資産の取得による支出	△528,405	△812,586
有形固定資産の売却による収入	21,582	39,671
無形固定資産の取得による支出	△30,919	△100,276
資産除去債務の履行による支出	△13,948	△132,117
投資有価証券の売却による収入	—	4,605
貸付金の回収による収入	2,145	28,442
貸付けによる支出	—	△70,000
敷金及び保証金の差入による支出	△61,099	△83,726
敷金及び保証金の回収による収入	437,550	630,011
店舗譲渡による収入	—	6,000
営業譲受による支出	△53,022	—
その他	△18,803	△43,553
投資活動によるキャッシュ・フロー	△723,351	139,866

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△770,000	△170,000
長期借入れによる収入	638,461	506,480
長期借入金の返済による支出	△1,649,267	△1,477,387
社債の発行による収入	200,000	—
社債の償還による支出	△50,000	△260,000
株式の発行による収入	1,641,713	—
リース債務の返済による支出	△607,361	△437,612
自己株式の取得による支出	△1,814	△210
配当金の支払額	△393	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△598,662	△1,838,740
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	413,949	△1,294,271
現金及び現金同等物の期首残高	4,925,133	5,339,083
現金及び現金同等物の期末残高	5,339,083	4,044,812

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、政府・自治体からの自粛要請により、店舗の営業時間の短縮や休業を余儀なくされるなど厳しい状態が続いており、国内での個人消費低迷及び来店客の減少等が想定されます。連結財務諸表の作成にあたっては、新型コロナウイルスの拡大感染により、翌連結会計年度の売上高への影響が上期まで継続するものの、下期以降は徐々に回復するものと仮定した計画を策定しております。したがって、上記の臨時休業期間においては、翌連結会計年度の財政状態及び経営成績に影響を与えることが見込まれます。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、営業本部を置き、商品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは営業本部を基礎とした商品・サービス別セグメントから構成されており、「WonderG00事業」、「WonderREX事業」、「TSUTAYA事業」及び「新星堂事業」の4つを報告セグメントとしております。

「WonderG00事業」は、ゲームソフト、音楽ソフト、映像ソフト、書籍、化粧品、携帯電話等の小売販売及びレンタル、また、それら商品の一部をF Cへ卸売をしております。「WonderREX事業」は、ブランド品、貴金属、衣料、服飾雑貨、オーディオ・家電等のリユース商品の買取・販売をしております。「TSUTAYA事業」はゲームソフト・映像ソフト・音楽ソフト・雑誌の販売及び映像ソフト・音楽ソフトのレンタルを行っております。「新星堂事業」は、音楽ソフト、映像ソフト等の小売販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	WonderG00	WonderREX	TSUTAYA	新星堂	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	35,700,623	8,588,786	15,685,599	11,230,953	71,205,962	911,238	72,117,200	-	72,117,200
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	233,466	-	899	-	234,366	72,408	306,774	△306,774	-
計	35,934,089	8,588,786	15,686,499	11,230,953	71,440,328	983,646	72,423,975	△306,774	72,117,200
セグメント利益 又は損失 (△)	526,467	255,045	△22,646	△303,804	455,062	41	455,104	△1,225	453,879
セグメント資産	11,172,295	3,768,015	5,044,740	3,907,560	23,892,612	1,693,883	25,586,496	4,301,854	29,888,350
その他の項目									
減価償却費	618,883	264,998	194,620	29,548	1,108,050	80,466	1,188,517	77,828	1,266,345
のれんの償却額	-	-	134,603	-	134,603	-	134,603	-	134,603
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	160,781	81,665	133,227	27,539	403,213	216,973	620,187	40,935	661,123

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又はセグメント損失の調整額△1,225千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産4,301,854千円であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない現金預金等であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産40,935千円あります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しないリース資産等であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	WonderG00	WonderREX	TSUTAYA	新星堂	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	29,050,343	8,046,094	13,456,516	9,780,371	60,333,326	874,585	61,207,912	-	61,207,912
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	131,642	-	-	-	131,642	69,962	201,604	△201,604	-
計	29,181,985	8,046,094	13,456,516	9,780,371	60,464,968	944,548	61,409,516	△201,604	61,207,912
セグメント利益 又は損失 (△)	813,481	229,257	114,198	156,327	1,313,265	△77,385	1,235,879	41,778	1,277,658
セグメント資産	10,208,171	3,979,132	4,560,167	3,560,821	22,308,293	1,682,741	23,991,034	3,257,098	27,248,133
その他の項目									
減価償却費	279,560	128,238	144,316	46,322	598,437	60,304	658,741	70,281	729,023
のれんの償却額	-	-	40,984	-	40,984	-	40,984	-	40,984
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	246,103	152,832	70,059	154,258	623,254	169,770	793,024	116,231	909,256

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又はセグメント損失の調整額41,778千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産3,257,098千円あります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない現金預金等であります。

- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産116,231千円であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しないリース資産等であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高であって、連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高であって、連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	全社・消去	合計
	WonderG00	WonderREX	TSUTAYA	新星堂	計			
減損損失	85,211	42,975	57,640	64,076	249,904	339,986	17,694	607,585

(注) 上記の他、WonderG00事業748,769千円、WonderREX事業331,195千円、TSUTAYA事業96,645千円、その他事業7,151千円、全社共通1,570千円にかかる減損損失を事業構造改善費用に含めて計上しております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	全社・消去	合計
	WonderG00	WonderREX	TSUTAYA	新星堂	計			
減損損失	48,791	—	4,931	24,311	78,034	179,024	—	257,059

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年3月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	全社・消去	合計
	WonderG00	WonderREX	TSUTAYA	新星堂	計			
当期償却額	—	—	134,603	—	134,603	—	—	134,603
当期末残高	—	—	86,461	—	86,461	—	—	86,461

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	全社・消去	合計
	WonderG00	WonderREX	TSUTAYA	新星堂	計			
当期償却額	—	—	40,984	—	40,984	—	—	40,984
当期末残高	—	—	45,477	—	45,477	—	—	45,477

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自2018年3月1日 至2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	757円59銭	881円95銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△695円84銭	129円52銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	5,988,174	7,000,070
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	264,133	336,628
(うち非支配株主持分(千円))	(264,133)	(336,628)
普通株式に係る純資産額(千円)	5,724,041	6,663,441
普通株式の発行済株式数(株)	7,559,184	7,559,184
普通株式の自己株式数(株)	3,581	3,856
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式 の数(株)	7,555,603	7,555,328

3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主 に帰属する当期純損失(△)(千円)	△5,159,188	978,570
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 損失(△)(千円)	△5,159,188	978,570
普通株式の期中平均株式数(株)	7,414,361	7,555,459

(重要な後発事象)

該当事項はありません。